

【研究課題名】

典型元素の協同作用を活用した感応性化学種の創製

【各研究項目の連携状況】

領域内の他の研究グループとの連携状況（予定を含む）について、①簡略化した共同研究内容②連携研究代表者姓（研究項目班）③共著論文の有無（件数）を研究内容毎に記載

①環拡大を伴う転位反応の機構解明、②諸熊（A01）、③有（1）

①アンモニアボランの脱水素化反応の機構解明、②榊（A03）、③無（原稿執筆予定）

①超原子価リン化合物を利用するFLPの開発、②山本（A01）、③無（原稿執筆予定）

【研究費の使用状況（設備の有効活用、研究費の効果的使用）】

リン化合物の合成と反応のために、オーストラリア人のポストドクを雇用し、合成実験が効率的かつ迅速に進展した。

【原著論文】

©*N. Kano, N. J. O'Brien, R. Uematsu, R. Ramozzi, *K. Morokuma, "Trihydroborates and Dihydroboranes Bearing a Pentacoordinated Phosphorus Atom: Double Ring Expansion To Balance the Coordination States," *Angew. Chem. Int. Ed.* in press, DOI: 10.1002/anie.201701718.

【アウトリーチの実施状況】

2016.8.17：高校生のための夏休み講座で化学の講義を実施